

### 3. 分野別計画

#### ページの見方

分野別計画では、5つの柱と15の基本戦略毎に整理した、39の施策の取り組みの方向性を示します。

**戦略の柱**

ひと **1** 互いながら **2** 小値ながら **3** 小さな **4** 確かな **5** 確かな **6** 確かな **7** 確かな **8** 確かな **9** 確かな **10** 確かな **11** 確かな

**背景**

戦後小値育町では、少子高齢化の影響で人口減少が進み、地域や暮らし、しごとを支える人材の不足によるサービスや生活環境の低下が課題となっています。また地域やまちづくり活動の人手不足、産学生徒数の減少による教育水準の低下、町内唯一の高校である北松西高校の存続など、様々な分野で課題が内在しています。

令和4年度に行った町民アンケートでは、「人口減少が見込まれる中、小値育町が目指すまちづくり」の優先度の設問で、「若者が活躍・定着できる魅力的な職場づくり、若手職人が確保・育成されるまち」を最大の割合で約44%と高かったことから、多くの町民が若者の活躍や人材の確保・育成を必要としていることが分かりました。また、「結婚・妊娠・出産・子育てを一貫して支援し、子育て世代と子どもも大切にすることも、高校の存続と学校教育等教育環境の充実したまち」についてもそれぞれ約25%の方が優先すべきだと答えており必要性が示されました。

この「ひと」の柱は、人口減少による負の連鎖を断ち切るための戦略として、単に居住者数の増加だけでなく、まちが自立し住み続けられるために必要と見込まれる新しい人の流れの創出と、特に若い世代や子どもを増やすための子育てや、子どもを育てながら働く環境の整備などの戦略で構成しています。

**目指すまちの姿**

「子どもが健やかに育ち、安心して子育てができていく社会にもっている」

- 結婚・妊娠・出産の希望を支援する社会となっている
- 誰もが安全安心に学べ、ニーズに合った魅力的な教育が推進されている

**基本戦略**

「子どもを育てながら小値育、子育てができる基礎を創る」

- 子どもが健やかに育ち、安心して子育てができていく社会にもっている
- 結婚・妊娠・出産の希望を支援する社会にもっている
- 誰もが安全安心に学べ、ニーズに合った魅力的な教育が推進されている

**成果指標**

目標項目	現状値	目標値(令和10年度)
地域や産業の担い手の中心となる生産年齢人口	9,100人(22年国勢調査)	8,150人(令和7年国勢調査)

#### 1 柱

柱と、その柱が目指す方向性を記載しています。

#### 2 背景

柱に関する背景や、柱を構成する戦略の内容を記載しています。

#### 3 目指すまちの姿と基本戦略

5年後の目指すまちの姿と、それを実現するための基本戦略を対比できるように記載しています。また、戦略の掲載ページを記載しています。

#### 4 成果指標

柱に対する成果指標として、目標項目と現状値、目標値を記載しています。

**基本戦略**

「子どもを育てながら小値育、子育てができる基礎をつくる」

**現状・問題点**

- 子ども以外の乳幼児の預かりの場が少ない。[子ども園の時間外保育は開園時間の13:30~18:30(月~土)の間のみ]、このほかにはびよび広場での一時預かりを返還日時間の範囲で実施中。
- 子育てに関する相談窓口が分散してわかりにくい。妊娠前から子育て期までの体系的な相談支援のため令和6年度より子ども家庭センター設置が努力義務化される。
- 支援が必要な幼児及び児童向けのサービス、医療機関が町内にないため島外への通院を余儀なくされ、多くの時間と費用を要している。
- 子育てサークルや母の会など、親同士の情報交換の場がない。
- 小値育町の増殖数は年間増減である。
- 小中学生的児童生徒数はここ10年大きな変化はない。
- 学校の無校化が進行している。

**町民の声**

- 「子育て環境について、特に力を入れべきだと思う項目はどれですか」という問いについて
  - 第1位 時間外保育等、仕事と子育てでの両立支援の充実 (31.9%)
  - 第2位 公園や子どもの遊び場の整備 (27.9%)
  - 第3位 子育て相談窓口の設置等、子育て支援体制の充実 (26.1%)
- 屋内外の遊び場、大きい子どもと小さい子どもを分けず遊べるスペースが欲しい。(小さい子が笑みをつかうため)
- 小中学生的児童生徒数はここ10年大きな変化はないこと、遊び場が少なく嘆息してほしいとの声が多い。

**課題**

- 子どもの預かり体制の充実 ・町民視点の子育てや発達に関する相談窓口の一本化
- 町民のニーズに合った子どもの遊び場の整備 ・親同士の交流機会の創出または創出支援
- 若者の出会いの機会の創出
- 専科の職員や未配属への対策 ・学習機会の提供
- 北松西高校は普通科のみであり、部活動も少ない状況
- 教育水準の維持のための留学籍実施法における無校化の確保・充実
- 老朽施設の計画的な更新

**施策と主な取り組み・目標値**

施策(1) 安心に子育てができる支援の充実

分野	主な取り組みと方向性	主体	支援	関係課
町民	●小値育子ども園の満足度向上 必要職員を確保した待機児童を出さない保育体制の元、利用者とのニーズに合わせた保育・教育サービスを提供し、満足度の向上を図ります。	町民	福祉	福祉課
町民	●ファミリーサポート・センター(子育て援助活動支援)事業 乳幼児と児童の預かりの援助を受けることを希望する者(依頼者)と、援助を行うことを希望する者(援助者)とのマッチング、連絡、調整を行います。	町民	福祉	福祉課
町民	●子ども家庭センター運営事業 妊娠前から子育て期に関する相談窓口を一本化し、子ども家庭支援員が中心に行う子ども等に関する相談等(児童福祉相談)と、保健師等が中心に行う母子保健相談を一体的に行います。 学校教育との連携も検討します。	町民	福祉	福祉課
町民	●発達促進のための支援 発達に関する相談窓口を一本化し、発達に関する相談窓口の設置を検討し、言語聴覚士、作業療法士等専門職からの発達支援を受けられる体制の構築を目指します。 発達の訓練等への交通費の助成を行い、利用者の経済的負担を軽減し、療育支援サービスを受けやすい環境の提供で、対象児が適切な療育サービスを受けられる環境を整えます。	町民	福祉	福祉課
町民	●子育て世代の情報交換の機会創出 子育てサークルをはじめ、子育て世代の情報交換や懸念の場の提供や支援を行います。	町民	福祉	福祉課
町民	●児童公園や雨の日に遊べる場所の整備 町民アンケートを実施し、ニーズに合った児童公園や雨の日に遊べる場所の整備を推進します。	町民	福祉	福祉課

**成果指標**

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度	目標値
出産乳児一歳時の受胎にかかる胎育補助料	—	新規	制度の創設	—

#### 5 戦略と目指すまちの姿

戦略名と、その戦略が目指すまちの姿を記載しています。

#### 6 現状・問題点 及び 町民の声

戦略に取り組むにあたっての現状と問題点、ニーズを記載しています。

#### 7 課題

現状、問題点、ニーズに対する課題と、対する施策を記載しています。

#### 8 おちからプロジェクト

戦略毎に含まれる「おちから横断プロジェクト」に該当する取り組み(SDGs、危機管理、DX、シティプロモーション、少子化対策)を記載しています。

#### 9 主な取り組みと方向性

課題に対する、令和6年度から令和10年度の主な取り組みと方向性を記載しています。シティプロモーション、少子化対策)を記載しています。

#### 10 役割

課題に対する町民・地域・行政の役割分担を記載しています。

👤:主体となって取り組むもの 🐾:支援していくもの

#### 11 成果指標

施策で達成すべき成果指標と数値目標を記載しています。

## もしかしたらあるかも！？ 小値賀町の近未来

実現するかどうかはさておき、小値賀町では町の明るい将来のために、様々な事業を検討しています。  
もしかしたら、思ってもみなかった良いことが起きているかも...

ヘリ・・・小値賀～●●間を●●分で移動可能に！！

空飛ぶ船・・・小値賀～佐世保間を●●分で移動可能に！！

空飛ぶ車・・・小値賀～大島・納島・六島・野崎島は車で移動！？

ドローンでモノを運ぶ・・・食料や生活品はもちろん、車やバイクもこれからはドローンで運ぶ時代に！？

多様な形の人の往来

遠隔診療、遠隔医療

遠隔授業

VRをつかったリハビリ医療

進化した自動翻訳システムで、誰とでも会話ができる！？

アンドロイドによる窓口対応、

自動運転技術による人流

再生医療、遺伝子治療

※写真挿入予定

※イラストイメージ挿入予定

ひと

互いに支えあいながら  
小値賀を担う人材を育み、  
確保し続けることができるひとづくり

## 背景

現在小値賀町では、少子高齢化の影響で人口減少が進み、地域や暮らし、しごとを支える人材の不足によるサービスや生活環境の低下が課題となっています。また地域やまちづくり活動の人手不足、児童生徒数の減少による教育水準の低下、町内唯一の高校である北松西高校の存続など、様々な分野で問題が内在しています。

令和4年度に行った町民アンケートでは、「人口減少が見込まれる中、小値賀町が目指すまちづくり」の優先度の設問で、「若者が活躍・定着できる魅力的な職場づくり、各職種人材が確保・育成されるまち」を選んだ方の割合が約44%と高かったことから、多くの町民が若者の活躍や人材の確保・育成を必要としていることが分かりました。また、「結婚・妊娠・出産・子育てを一貫して支援し、子育て世帯と子どもを大切にすまち」「高校の存続と学校教育等教育環境の充実したまち」についてもそれぞれ約25%の方が優先すべきだと答えており必要性が示されました。

この「ひと」の柱は、人口減少による負の連鎖を、正の連鎖に転換するための戦略として、単に移住者数の増加だけでなく、まちが自立し住み続けるために必要な人材の増加を目指した新しい人の流れの創出と、特に若い世代や子どもの数を増やすための子育てや、子どもから高齢者まで全世代に渡る生涯教育環境整備のための戦略で構成しています。

## 目指すまちの姿と基本戦略

### 目指すまちの姿

- ・子どもが健やかに育ち、安心して子育てができていく社会になっている
- ・結婚・妊娠・出産の希望を支援する社会となっている
- ・誰もが安全安心に学べ、ニーズに合った魅力的な教育が推進されている

- ・子どもの成長を支える地域社会となっている
- ・子どもからお年寄りまで、様々な場所や形で交流が広がっている
- ・交流の中心地となる生涯教育施設が整備されている

- ・新しい人の流れができ、地元定着率や移住者・関係人口が増加し、地域や産業の人材となって町民生活を下支えしている

### 基本戦略

▶▶ 1 「子どもを育てるなら小値賀」の環境を整え、子どもが健やかに学び育ち、安心して子育てができる基盤を創る  
→\*\*ページ

▶▶ 2 子どもから大人まで、様々な繋がりの中で互いの成長を支えあえる地域社会を実現する  
→\*\*ページ

▶▶ 3 住むため、住み続けるために必要な人材を確保する  
→\*\*ページ

## 成果指標

目標項目	現状値	目標値(令和10年度)
地域や産業の担い手の中心となる生産年齢人口	930人 (令和2年国勢調査)	815人 (令和7年国勢調査)

※写真・活版データ 挿入予定



基本戦略

1

ひと 互いに支えあいながら小値賀を担う人材を育み、確保し続けられるひとづくり

「こどもを育てるなら小値賀」の環境を整え、  
こどもが健やかに学び育ち、安心して子育てができる基盤をつくる

目指すまちの姿  
 ・こどもが健やかに育ち、安心して子育てができている社会になっている  
 ・結婚・妊娠・出産の希望を支援する社会となっている  
 ・誰もが安全安心に学べ、ニーズに合った魅力的な教育が推進されている

現状・問題点

- ・こども園以外の乳幼児の預かりの場が少ない。(こども園の時間外保育は開園時間の7:30~18:30[月~土]の間のみ)。このほかにびびよ広場での一時預かりを週3回5時間の範囲で実施中。
- ・子育てに関する相談窓口が分散していてわかりにくい。妊娠期から子育て期までの一体的な相談支援のため令和6年度よりこども家庭センター設置が努力義務化される。
- ・支援が必要な幼児及び児童向けのサービス、医療機関が町内にないため島外への通院を余儀なくされ、多くの時間と費用を要している。
- ・子育てサークルや母の会など、親同士の情報共有や息抜きの場がない。
- ・小値賀町の婚姻数は年間数組である。
- ・小中学生の児童生徒数はここ10数年大きな変化はないが、大島分校の児童数、北松西高校の生徒数は低減している。
- ・学校施設が老朽化している。

町民の声

- ・「子育て環境について、特に力を入れるべきだと思う項目はどれですか」という問いについて
  - ・第1位 時間外保育等、仕事と子育ての両立支援の充実 (31.9%)
  - ・第2位 公園や子どもの遊び場の整備 (27.9%)
  - ・第3位 子育て相談窓口の設置等、子育て支援体制の充実 (26.1%)
- ・屋内外の遊び場、大きいこどもと小さいこどもを分けて遊べるスペースが欲しい。(小さい子が気をつかうため)
- ・小学生からは、小値賀での困りごとや小値賀にしてほしいことに、遊び場が少なく増やしてほしいとの声が多い。

課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こどもの預かり体制の充実</li> <li>・ 町民のニーズに合ったこどもの遊び場の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町民視点の子育てや発達に関する相談窓口の一本化</li> <li>・ 親同士の交流機会の創出または創出支援</li> </ul>	施策(1)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者の出会いの機会の創出</li> </ul>		施策(2)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専科の教員の未配置への対策</li> <li>・ 北松西高校は普通科のみであり、部活動も限られているため他の高校からすると魅力が少ない。また授業料の無償化により私立高校にも進みやすい状況。</li> <li>・ 教育水準の維持のための留学制度実施における受入施設の確保・充実</li> <li>・ 老朽施設の計画的な更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習ニーズに対する魅力的な教育機会の提供</li> </ul>	施策(3)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者の出会いの機会の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専科の教員の未配置への対策</li> </ul>	施策(4)

施策と主な取り組み・目標値

施策(1) 安心して子育てができる支援の充実

分野	主な取り組みと方向性	主体			関係課
		町民	地域	行政	
子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小値賀こども園の満足度向上 必要な職員を確保した待機児童を出さない保育体制の元、利用者のニーズにあった保育・教育サービスを提供し、満足度の向上を図ります。</li> </ul>				こども園 福祉事務所
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ファミリー・サポート・センター(子育て援助活動支援)事業 乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として児童の預かりの援助を受けることを希望する者(依頼会員)と、援助を行うことを希望する者(援助会員)との間のマッチング、連絡、調整を行います。</li> </ul>				福祉係
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●こども家庭センター運営事業 妊娠期から子育て期に関する相談窓口を一本化し、こども家庭支援員が中心に行うこども等に関する相談等(児童福祉機能)と、保健師等が中心に行う各種相談等(母子保健機能)を一体的に行います。 学校教育との連携手段も、最善のあり方を検討します。</li> </ul>				福祉係 保健係
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発達促進のための支援拡充 子育て窓口と併せて、発達についての相談窓口の設置を検討し、言語聴覚士、作業療法士等専門職からの発達支援を受けられる体制の構築を目指します。 発達の訓練等への交通費の助成を行い、利用者の経済的負担を軽減し、療育支援サービスを受けやすい環境の提供で、対象児が適切な療育支援サービスが受けられる環境を整えます。</li> </ul>				福祉係 保健係
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育て世代の情報交換の機会 <b>町民等</b> <b>未来会議</b> 子育てサークルをはじめ、子育て世代の情報交換や息抜きの場の提供や支援を行います。</li> </ul>				福祉係
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童公園や雨の日に遊べる場所の整備 町民アンケートを実施し、ニーズに合った児童公園や雨の日に遊べる場所の整備を推進します。</li> </ul>				福祉係

成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
出産乳児一般検診の受診にかかる船賃補助制度の創設	—	新規	制度の創設

1 こどもを育てるなら小値賀の環境を整え、こどもが健やかに学び育ち、安心して子育てができる基盤を創る。

### 施策(2) 結婚の希望を実現するための支援の充実

分野	主な取り組みと方向性	主体			関係課
		町民	地域	行政	
結婚	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出会いの創出 島内・島外問わない交流機会(リアル・オンライン)を増やし、職種・性別を超えた出会いを創出します。 また、文化・芸術・スポーツ活動等に関する情報を発信し、既存活動を通じた自然な出会いを生み出します。 活動に参加するためには心と時間の余裕が必要であり、働き方改革とも連動させます。</li> </ul>				企画係
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●結婚祝い金等の支援の継続 結婚祝い金や披露宴の町内開催支援等を継続します。</li> </ul>				企画係

成果指標			
目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
結婚数(3ヶ月平均)	3組	↑増加	4組

### 施策(3) 基礎学力と社会を生き抜く力、郷土への愛着・誇りを育む小値賀ならではの魅力ある教育の推進

分野	主な取り組みと方向性	主体			関係課
		町民	地域	行政	
学校教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小中高一貫教育を通じた学力の向上と一人一人に対応したきめ細かな教育を推進します。</li> </ul>				教育総務係
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アントレプレナーシップ教育推進事業 アントレプレナーシップとは、ゼロから事業を起こそうとする精神を意味し、起業家・経営者など外部講師を招いての講演等を通じ、急速な時代の変化に対応できる変化やリスクを恐れない力を身に付けます。</li> </ul>				教育総務係
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北松西高校魅力化推進事業 <b>未来会議</b> 町内外から志願者が確保・増加するように高校魅力化事業を拡大します。</li> </ul>				教育総務係
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ふるさと留学推進事業 <b>未来会議</b> 入寮型・しま親型留学の充実及び、孫留学や家族留学など新たな受入方法について検討、導入していきます。</li> </ul>				教育総務係

成果指標			
目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
北松西高校入学者数	10名(令和5年度実績)	↑増加	14名

### 施策(4) 安心安全にこどもを育てる教育環境の整備

分野	主な取り組みと方向性	主体			関係課
		町民	地域	行政	
学校教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●老朽施設の計画的な整備 安全な教育環境確保のため、小学校プールをはじめ、老朽化が進む施設や設備の計画的な整備を推進します。</li> </ul>				教育総務係
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校体育館空調設備工事 昨今の異常気象で屋外での体育活動が制限される中、安全安心な環境整備のため、空調設備を検討します。。</li> </ul>				教育総務係
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安心安全な教育環境整備事業 通常学級と特別支援学級の間にあたる、発達障害などで、読み書きや対人関係が苦手等支援を要するこどもの支援体制の構築を推進します。</li> </ul>				教育総務係

成果指標			
目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
小中高における児童生徒数	147名(令和5年4月現在)	↑増加	168名





## こどもから大人まで、 様々な繋がりの中で互いの成長を支ええる地域社会を実現する

### 目指すまちの姿

- こどもの成長を支える地域社会となっている
- こどもからお年寄りまで、様々な場所や形で交流が広がっている
- 交流の中心地となる生涯教育施設が整備されている

## 現状・問題点

- 社会が複雑・多様化し、こどもたちを取り巻く環境が大きく変化する中で、学校が抱える課題も複雑化・困難化しており、学校、家庭、地域が連携・協働し、地域全体としてこどもも大人も学び合い育ち合う教育体制の1つとして、小値賀町学校運営協議会、通称コミュニティスクールが組織化されている。
- 生徒にとって望ましい持続可能な運動部活動と学校の働き方改革の両立を目指し、部活動の地域移行を検討している。
- 家庭環境や価値観の多様化、地域社会のつながりの希薄化等により、親子の育ちを支える人間関係が弱まり、家庭教育が困難となっている事例も見られる。
- 人口減少・少子高齢化による自主学習グループの活動の低下
- 全世代参加型の町民体育レクリエーション大会について、高齢化等により負担感が増している

## 町民の声

- 「小値賀町のまちづくりや社会活動などの取り組みへのあなたの関心について、現在実際に参加しているものや、参加した経験があるもの」の第1位は、「子どもの教育や健全な育成に関する活動（コミュニティスクール、子育て支援、育成会、スポーツクラブなど）」31.7%であり、こどもを支える意識が高いことがうかがえる。
- PTA連合会会長をはじめとした、充て職負担軽減のため、役割分担等の工夫や配慮が求められている

## 課題

- コミュニティスクールの実働部隊となる「地域学校協働本部」の整備と学校活動を支援する地域人材の確保
- 教職員の働き方改革を実施し、教師が余裕を持って一人一人の児童生徒に向き合える環境を整備する。
- 保護者等が自身の子育ての悩みや体験についてワークショップを通して語り合うことで共感し、つながり合う中で子育ての不安を取り除くとともに、子育てのヒントを得られるように構成された参加型学習プログラムであるファミリープログラムの認知度向上

施策(5)

- 町民レクリエーション大会を始めとした、多くの町民が参加し親睦を深めることができる事業の在り方の検討

施策(6)

- 施設の適切な維持管理

施策(7)

## 施策と主な取り組み・目標値

### 施策(5) 地域総参加でこどもを育て、こどもの成長を支援する体制づくり

分野	主な取り組みと方向性	主体			関係課
		町民	地域	行政	
生涯学習	<b>●コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)</b> 学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むコミュニティ・スクールを推進すると共に、地域学校協働本部の整備を進めます。				教育委員会
	<b>●部活動地域移行</b> 部活動指導員を配置し、教職員の働き方改革を進めると共に、完全地域移行へ向けた受け皿づくりを行います。				教育委員会
	<b>●放課後子ども教室</b> 小学生を対象に放課後子ども教室を開催し、こどもたちの安全・安心な居場所を設け、地域住民の参画を得て、こどもたちとともに勉強、スポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等を行います。				教育委員会
	<b>●家庭教育事業</b> 家庭教育を強化するため、ファミリープログラムの認知度を高め、ファシリテーター登録を増やすと共に、子育て講演会を継続実施します。				教育委員会
	<b>●地域活動団体支援事業</b> 老人クラブ連合会、婦人連絡協議会、体育協会、文化連盟等、地域で活動する各団体への支援を継続実施します。				教育委員会 福祉事務所


### 成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
地域学校協働本部の整備	未整備	期限設定	令和7年整備
部活動の地域移行率	0%	期限設定	令和9年完全移行

※写真・活版データ 挿入予定

2 こどもから大人まで、様々な繋がりの中で互いの成長を支ええる地域社会を実現する




施策(6) 文化・芸術・スポーツ活動等を通じた出会いと生きがいづくり

分野	主な取り組みと方向性	主体  支援 			関係課
		町民	地域	行政	
生涯学習	●人生を豊かにするための活動支援事業 <b>未来会議</b> 地域の文化・スポーツ・芸術活動の充実・振興のため、自主活動・自主学習グループへの支援を行います。				教育委員会
	●町民レクリエーション大会の持続可能性検討 <b>未来会議</b> 無理なく実施可能な、こどもから大人まで一体となった町民総参加大会のあり方について検討し構築します。				教育委員会
	●生涯を通じた学びの機会の提供 成人、女性、高齢者等各世代を対象としたニーズのある学習講座を開催し、生涯を通じて学ぶことができる機会を提供します。				教育委員会

成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
年間講座実施回数	11回	↑増加	24回

施策(7) 安定した生涯学習環境の整備

分野	主な取り組みと方向性	主体  支援 			関係課
		町民	地域	行政	
生涯学習	●社会教育・社会体育施設等整備事業 社会教育施設である離島開発総合センターや図書館、社会体育施設である総合運動公園等老朽化が進行している各施設について、町民のニーズを捉え利活用策を検討すると共に、長寿命化改修、建替えあるいは統廃合の方針を決定し、対策を推進します。				教育委員会

成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
個別施設計画に則った改修達成率	0%		100%

※写真・活版データ 挿入予定

## 住むため、住み続けるために必要な人材を確保する

目指すまちの姿  
・新しい人の流れができ、地元定着率や移住者・関係人口が増加し、地域や産業の人材となって町民生活を下支えしている

### 現状・問題点

- 人口減少により、まちの基幹産業である農業や漁業、基幹産業や暮らしを支える商工業や医療・介護・保健・保育、また地域やまちづくり活動など、あらゆる分野の担い手が不足し、サービスや取り組みを縮小、廃止せざるを得ない状況が起きている。
- 人材確保について、例えば農業者であれば役場の農林係、漁業者であれば役場の水産係、介護関係であれば各事業者など、各分野・組織バラバラに動いており、情報も分散化している。
- 定住支援員の設置により、移住者の相談体制は改善している。
- 国全体で人口が減少し、人の価値観やライフスタイルの多様化、テレワークの普及が進む中、都市と地方などを行き来する二拠点居住による担い手確保の動きがある。
- 離島という地理的特性により、移住にかかる費用が高額となっている。
- 考え行動することができるまちづくりリーダーの育成が進んでおらず、体制も整っていない。
- まちづくり活動等、活動の拠点となる場所がない。

### 町民の声

- 「人口減少が見込まれる中、小値賀町が目指すまちづくりについて、特に優先して取り組むべき項目」の第2位に、「若者が活躍・定着できる魅力的な職場づくり、各職種人材が確保・育成されるまち」44.3%が上っており、町民の多くが人材の確保・育成を課題と感じている。
- 人材の確保・育成について、医療・福祉・産業等あらゆる分野でニーズが高い結果となっている。
- 「経費への補助」から「ひとづくりへの補助」への転換として、プロジェクトマネージャーを育成する。
- プロジェクトマネージャーが育てば、小値賀の様々な組織がかっこいい組織となる。

### 課題

- 小値賀で住む、住み続けるために必要な仕事や住まいなどの情報の集約化や窓口体制の一本化
- いかに人材が必要か、移住を検討している方の心に届くメッセージ性のある情報発信
- 複数拠点居住など時間や場所にとられない人材確保に向けた町内の意識変容と住まいの整備

施策(8)

- 官民一体となった人材確保育成体制の整備
- 町内就職活動の促進
- 外部人材の積極的活用
- 移住を後押しするための助成制度の充実

施策(9)

- 人材育成の体制整備と人材育成によるまちづくり等活動の活性化
- まちづくり活動等の拠点整備

施策(10)

## 施策と主な取り組み・目標値



### 施策(8) 総合窓口体制による人材確保策の展開

分野	主な取り組みと方向性	主体			関係課
		町民	地域	行政	
人材	<b>●島暮らしサポートセンターの設置運営</b> 町民、移住希望者の垣根を外し、しごとや住まいなど小値賀に住むための総合窓口体制を構築し、マンパワーの集中とノウハウの集約を図り、情報の受発信や相談受付など、定住できるために支援します。				総務課 企画係  全課
	<b>●情報発信の強化 未来会議</b> 民間を含むまちのあらゆるしごとや住まい、サークル活動やまちづくり活動等、小値賀での生活が想像できる情報を受発信します。またターゲットに応じメディアを使い分け多角的に発信し、小値賀町が移住者を求めていることが伝わるメッセージ性のある情報発信を推進します。				総務課 企画係  全課
	<b>●短期滞在施設等整備事業 未来会議</b> シェアハウスやお試し住宅等短期居住の需要に対応できる施設や設備を、充実または支援します。				総務課 企画係
	<b>●移住支援金の支給</b> 離島ゆえに費用が高む引越し費用などの費用の一部を助成し、移住を促進します。				総務課 企画係

### 成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
総合窓口の設置年度	なし	期限設定	令和7年度
社会増減数	0人(令和4年度実績)	↑増加	5人

※写真・活版データ 挿入予定



### 施策(9) しごとや暮らし、地域など小値賀を支える人材の確保

分野	主な取り組みと方向性	主体			関係課
		町民	地域	行政	
人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小値賀町の自立に必要な持続的な産業体制の構築 <b>未来会議</b> 町内関係団体、町外企業等と連携(委託、誘致、派遣等)して体制を整備し、本町の自立に必要な職の検討、事業継承の促進などの人材確保に向けた取り組みを推進します。</li> </ul>				企画係全課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外部人材活用制度の積極的活用 地域おこし協力隊や地域活性化企業人、集落支援員制度など、国の支援制度を積極的に活用し、本町の課題解決に必要なスキルをあわせ持つ人材を確保します。</li> </ul>				企画係全課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町内就職促進支援 北松西高校をはじめ、町外の高校・大学等からの町内就職を促進します。希望する町内求人情報を総合的に管理し、情報発信や営業活動を行い、役場においては本人の希望する業種への配置を叶える体制の構築を検討します。</li> </ul>				企画係全課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人材確保に係る支援制度の拡充 奨学金支援制度に加え、町内のしごとや暮らしに必要な資格を持つ人材には転入時に一時金を支給するなど制度を拡充します。</li> </ul>				企画係全課

成果指標			
目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
自立に必要な人材確保率	—	↑増加	100%
地域おこし協力隊隊員数	4名(令和4年度末現在)	↑増加	9名

### 施策(10) 未来を支える人材の魅力化と育成

分野	主な取り組みと方向性	主体			関係課
		町民	地域	行政	
人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>●関係人口を活用した定住支援事業 しごとやまちづくり活動に対する困りごとなどに対応できるよう、町内在住者や、小値賀出身者を含む外部専門人材を活用した支援体制を構築します。</li> </ul>				企画係全課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まちづくりリーダーの育成 官民を問わず、プロジェクトマネジメントの基礎を学ぶセミナー、外部講師の招聘などによる新しい知識やスキルの習得やワークショップ、セミナーの開催を通じ、次世代を担うまちづくりリーダーを育成します。また、町内における事業実施や拡大等に必要資格取得やリスキングの取り組みを支援するなど、人材育成支援を推進します。</li> </ul>				企画係全課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若者活動拠点整備事業 活動拠点となる場所の整備または整備に対する支援を推進します。</li> </ul>				企画係

成果指標			
目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
定住支援体制を通じた年間移住相談組数	6組(令和4年度実績)	↑増加	60組/年
事業を通じて生まれた仕事や活動の数	0件	期間累計	5件

※写真・活版データ 挿入予定

くらし

いつまでも安心して生活できる  
持続可能なくらしづくり

### 背景

外海離島という地理的特性や、高齢化率50.8%（令和2年国勢調査）と、高齢者が半数を占める本町において、安心して生活できるくらしは住み続けるために必要な要素の1つです。

令和4年度に行った町民アンケートでは、「人口減少が見込まれる中、小値賀町が目指すまちづくり」の優先度の設問で、「健康・福祉・医療施策が充実し独居高齢者でも安心して住み続けられるまち」が53.5%の第1位でした。また「災害等の危機に対し強靱で、犯罪の無い安心安全なまち」は23.8%と4人に1人の方が優先して取り組んでほしい項目としてあげられました。

くらしの柱では、人口減少が進み、また公共施設の老朽化が進み多額の更新費用が見込まれ厳しさを増す財政状況の中、くらしに必要な医療・福祉・保健・地域交通・上下水道を維持し、防災・防犯・交通安全等の取り組みを推進することで、住み慣れた地域にいつまでも安心して生活できる持続可能なくらしづくりを目指していきます。

### 目指すまちの姿と基本戦略

#### 目指すまちの姿

- ・医療・保健・福祉・住まい等 生活基盤が整い安心して生活している
- ・災害や犯罪被害がなく安全に生活している
- ・誰もが住み慣れた地域で生活している

- 島ながらに
- ・交通に不便なく生活している
  - ・都会並みの情報通信インフラが整っている

- ・持続可能なごみ処理体制ができている
- ・自然を満喫した生活を送っている
- ・小値賀らしい景観が保全されている

#### 基本戦略

誰もが安心安全に生活できる基盤を充実  
4 する  
→\*\*ページ

便利で快適に生活できる基盤を維持する  
5  
→\*\*ページ

環境が保全され自然と共生する社会を実現する  
6  
→\*\*ページ

### 成果指標

目標項目	現状値	目標値(令和10年度)
くらしに関するすべての指標の目標達成率	—	100%
小値賀での生活の幸せ度 (とても幸せ、まあまあ幸せと答えた方の割合)	80.2%	90%

※写真・活版データ 挿入予定

## 誰もが安心安全に生活できる基盤を充実する

目指すまちの姿

- ・医療・保健・福祉・住まい等生活基盤が整い安心して生活している
- ・災害や犯罪被害がなく安全に生活している
- ・誰もが住み慣れた地域で生活している

### 現状・問題点

- ・気候変動の影響で自然災害が激甚化、頻発化しており、本町においても避難施設を利用する町民が増加傾向にある。
- ・免許制度の変更やオートマチック車の普及により、消防自動車を運転できない団員が増えている。
- ・ブロック塀や草木の繁茂、老朽家屋など、道路において危険箇所がある。
- ・成人年齢の引き下げや高齢化、デジタル化等、消費者を取り巻く情勢は複雑多様化している。
- ・町内唯一の総合医療機関である小値賀町国民健康保険診療所は、内科が常設され、外部医療機関と連携し、定期的に7科(精神科・肝臓科・整形外科・泌尿器科・眼科・循環器内科・小児科)の専門医外来を実施している。
- ・国民健康保険加入者の特定健診受診結果におけるメタボ該当者が23.3%と、受診者の4人に1人がメタボ該当者となっている。
- ・小値賀の地域包括ケアシステムである「おちか見守りネット」の認知度が12.8%と低い。
- ・良質な空き家が少なく、また人件費や物価高騰により、住宅整備に係る経費が急激に高騰している。
- ・水道・下水道等の生活インフラが老朽化し、経費が増大しつつある。

### 町民の声

- ・「人口減少が見込まれる中、小値賀町が目指すまちづくりについて、特に優先して取り組むべき項目」の第1位に、「健康・福祉・医療施策が充実し独居高齢者でも安心して住み続けられるまち」53.5%が上がっており、最も町民のニーズがある分野である。
- ・「福祉・保健・医療について、特に力を入れるべきだと思う項目」について、第2位から順に「独居高齢者などの見守りや買い物支援等安心して暮らせるための支援の充実」(50.5%)、「救急体制の確保(ドクターヘリ・急患搬送ヘリ・医師搬送ヘリ)」(38.7%)、「在宅介護サービスや施設入所サービスの充実」(38.0%)、「診療所のオンライン診療・専門外来体制の充実」(32.4%)と軒並み高い割合となっている。  
※1位は関連人材の確保に関する事で、「ひと」の柱に区分
- ・「定住促進のための住宅対策について、特に力を入れるべきだと思う項目」の第1位は「民間空き家等を活用した住宅の供給・管理・整備」また「空き家対策について、特に力を入れるべきだと思う項目」の第2位は「活用可能な空き家のリフォームなど利活用促進対策」、各種団体からも空き家活用のご意見があり、関心が高い。

### 課題

- ・地域の実態に合った避難場所の確保
- ・消防設備を支障なく使用可能な消防団員の育成

施策(11)

- ・交通安全対策の確保
- ・消費者行政窓口の幅広い対応の充実

施策(12)



- ・町民満足度の高い診療所の医療体制整備

施策(13)

- ・健康寿命の延伸

施策(14)

- ・高齢者福祉等における包括的ケアシステムの認知度向上

施策(15)

- ・良質な住環境整備のための住まいへの投資促進
- ・民間による賃貸住宅整備・経営

施策(16)

- ・安心安全な道路環境の維持管理
- ・安心安全な水道・下水道等生活インフラの維持管理

施策(17)

### 施策と主な取り組み・目標値

#### 施策(11) 防災力強化の取り組みの推進

分野	主な取り組みと方向性	主体			関係課
		町民	地域	行政	
防災	●避難施設整備事業 <b>未来会議</b> 避難施設の整備を図り避難体制を充実させます。				防災交通係
	●自主防災組織活動支援事業 自主防災組織の活動や防災資機材の整備等に対し支援を行います。				防災交通係
	●総合防災訓練の実施 住民参加型の防災訓練を2年に1度実施し、災害発生時の応急対策に関する検証・確認と住民の防災意識の高揚を図ります。				防災交通係
消防	●消防団員確保推進事業 AT 限定免許の限定解除、準中型免許の取得に対し支援を行い消防体制の強化を図ります。				防災交通係
	●消防施設整備事業 消防団に必要な施設、資機材等を整備し、消防・防災力を強化します。				防災交通係

#### 成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
風水害・地震などによる死者数	0名(令和4年度実績)	上限設定	0名
自主防災組織の防災訓練参加率	0%(令和4年度末)	↑増加	100%
所属分団消防車両の 運転可能な分団員の割合	確認中	↑増加	100%

### 施策(12) 交通安全、防犯等の推進

分野	主な取り組みと方向性	主体			関係課
		町民	地域	行政	
交通安全	●交通安全対策事業 町民への反射材配布、通学路のブロック塀や老朽家屋等の安全対策を講じます。				防災交通係
	●免許返納促進事業 運転免許返納の促進を図ります。				防災交通係
防犯	●防犯意識向上事業 犯罪被害者等による講演会を開催し、町民の防犯意識の向上を図ります。				防災交通係
	●消費者行政 消費者を取り巻く環境に応じた窓口体制の充実を図ります。				商工観光係

#### 成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
交通事故による年間死者数	0名(令和4年度)	上限設定	0名
犯罪被害年間件数	1件(令和4年度)	上限設定	0件







### 施策(13) 地域医療の充実

分野	主な取り組みと方向性	主体			関係課
		町民	地域	行政	
医療	●診療所の体制整備・充実 <b>未来会議</b> 「ひと」の柱と連携した医師をはじめとした人材確保、医療技術や応対接客等の研修を通じたスタッフの質の向上、支援医療機関との関係性の構築及び継続等により、診療所の体制の充実を図ります。				診療所
	●専門医外来事業 <b>未来会議</b> 専門医による専門科外来を継続し、町民ニーズを把握し種類や回数を見直します。 <b>【現状】</b> ・精神科、肝臓内科、整形外科、小児科⇒毎月1回 ・泌尿器科⇒3か月に1回 ・眼科、循環器内科⇒2か月に1回				診療所
	●医療DXの推進 <b>未来会議</b> 小離島での診察活用・島内におけるオンライン診察・島外医師とともに 行うオンライン診察、保健師等在宅にかかわるスタッフとの情報共有・連携体制の構築など、小値賀町に合った医療DXを推進します。				診療所
	●救急搬送体制の確実な確保 離島である本町に唯一ある診療所で初期医療を行い、本土の高度医療機関への搬送が必要な場合に備え、救急搬送できる体制を確実に確保します。				診療所

#### 成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
専門医外来の種類と回数	7科目 ※取り組み欄に記載 (令和4年度末現在)	維持	100%
オンライン診療体制の整備	—	新規	実施
緊急搬送時の搬送率	100%	維持	100%

### 施策(14) 健康・保健対策の推進

分野	主な取り組みと方向性	主体  支援 			関係課
		町民	地域	行政	
保健	<p>●国保加入者に対する特定健診について</p> <p>受診率の低い若年層を対象に、電話や戸別訪問等による個別勧奨を行うことで、受診率の上昇につなげ、健康寿命の延伸及び医療費の削減を目指します。また、健診受診に対する特典の付与について検討します。</p>				保健係
	<p>●歯科保健・口腔ケアの推進</p> <p>生涯を通して、歯や口腔の健康維持ができるよう、児童に対するフッ化物洗口や、成人歯科検診等を実施することにより、歯科保健・口腔ケアの推進に取り組みます。</p>				保健係

#### 成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
特定健診受診率	39.7%(令和4年度)	↑増加	50.0%
成人歯科検診受診率	—	新規	7.0%

### 施策(15) 地域福祉の充実

分野	主な取り組みと方向性	主体  支援 			関係課
		町民	地域	行政	
高齢者・障がい者・介護	<p>●包括的支援事業</p> <p>地域包括支援センターの運営を適切に行い、高齢者が、要介護状態・要支援状態になることを防止するとともに、要介護状態になった場合でも、可能な限り地域で自立した日常生活を営むことができるよう支援します。</p>				福祉係
	<p>●通いの場や運動教室等による介護予防の推進</p> <p>高齢者一人ひとりの生きがいや、自己実現のための介護予防の取り組みを通して、生活の質の向上を図ります。</p>				福祉係
	<p>●認知症の予防と共生の推進</p> <p>認知症の方の社会参加の促進、社会的孤立感の解消、心身機能の維持、家族の精神的負担の軽減、認知症の普及・啓発を行います。</p>				福祉係
	<p>●安心して暮らすことができる環境の推進</p> <p>在宅高齢者や障害がある方を支援する福祉サービスを支援するとともに、ちょっとした困りごとなどへの支援を必要とする方に対し、有償ボランティア等、地域の資源を活用した多様な生活支援サービスの充実を目指します。</p>				福祉係
	<p>●地域ケア会議の実施</p> <p>関係機関と地域内の課題の共有や解決策を協議し、高齢者・障がい者等の支援充実を図ります。</p>				福祉係
全般	<p>●生活困窮者への支援</p> <p>生活困窮者相談支援員を配置し、生活困窮者への支援体制を強化します。</p>				福祉係

#### 成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
小値賀見守りネット認知度	12.8%	↑増加	25%
要介護・要支援認定率	17.9%	↓減少	17%
通いの場の実施箇所	8箇所	↑増加	12箇所



### 施策(16) 住宅整備の推進

分野	主な取り組みと方向性	主体			関係課
		町民	地域	行政	
住宅	<p>●住まい性能向上の支援 <b>町民等</b></p> <p>断熱性や気密性等省エネ性能の向上や、水回り環境の改善等、町民の住まいの性能向上のための改修費の一部を支援し、気候変動や電気料金の高騰に対する町民の住まいの安心の確保につなげます。</p>				管理係
	<p>●民間賃貸住宅建設助成事業 <b>町民等</b></p> <p>民間賃貸住宅の供給を促進し、住環境の向上と移住・定住人口の確保及び地域経済の活性化を促進します。</p>				管理係
	<p>●移住定住者向け住環境整備事業 <b>町民等</b></p> <p>居住期間制限のない良質な移住定住者向け住宅を確保します。</p>				企画係
	<p>●空き家バンク制度の拡充 <b>町民等 未来会議</b></p> <p>町内の空き家情報を一元的に収集・管理する空き家バンク制度を拡充します。対象物件について、建物全体だけでなく、建物の一部も対象とし、また法人所有の建物も対象とするなど、住まいだけでなく産業面でのマッチングも視野に、利活用の促進に向け充実を図ります。</p>				企画係
	<p>●町営住宅等の適正管理</p> <p>町営住宅等の適切な維持管理と長寿命化を図ります。また、町営住宅等に対する需要を勘案し、適正な戸数の維持、確保に努めます。</p>				管理係
	<p>●相続登記の推進</p> <p>令和6年4月1日から相続登記の申請が義務化されますが、登記相談の機会の確保と広報の実施により、着実な登記手続きを推進し、不動産利活用の促進を図ります。</p>				総務係

#### 成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
住環境に不満がある方の割合の低減	27.2%	↓減少	15.0%

### 施策(17) 社会基盤の適正な維持管理

分野	主な取り組みと方向性	主体			関係課
		町民	地域	行政	
道路・水道・下水道	<p>●道路の維持管理 <b>町民等 未来会議</b></p> <p>老若男女が安全に安心して生活できるよう道路施設の維持管理を図ります。</p>				建設 営繕係
	<p>●道路拡張工事</p> <p>新しく建設される佐世保市消防局小値賀出張所に隣接する町道の拡張による安全性の確保に努めます。</p>				建設 営繕係
	<p>●簡易水道施設改修事業</p> <p>老朽管路更新、ポンプ・計器類等の設備更新を図り、飲料水の安定供給に努めます。</p>				水道 下水道係
	<p>●下水道の広域化・共同化事業</p> <p>前方・柳・斑クリーンセンターを廃止し、笛吹浄化センターに集約することで、維持管理経費の削減を図ります。</p>				水道 下水道係

#### 成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
交通事故発生件数	0件(令和4年度実績)	上限設定	0件
有収率の向上 (給水量に対する料金収入として 計上される有収水量の割合)	82.7%(令和4年度現在)	↑増加	90%



## 便利で快適に生活できる基盤を維持する

目指すまちの姿  
島ながらに、交通に不便なく生活している、都会並みの情報通信インフラが整っている

### 現状・問題点

- 小値賀町地域公共交通計画策定時に実施したアンケートにおいて、バス交通の継続、利便性の向上、車両の小型化、事業効率化の意見が多かった。
- 町営船「さいかい」については、平成11年12月の建造から25年が経過しており、老朽化に伴う修繕費の増大や、燃油価格高騰による燃料費等の費用が経営を圧迫している。
- 小値賀町地域公共交通計画策定時に実施したアンケートにおいて、町内にタクシー事業者がないことから移動に困っているという意見が多かった。
- 佐世保航路の燃油サーチャージ等による運賃高騰
- 小値賀町地域公共交通計画策定時に実施したアンケートにおいて、佐世保港高速船棧橋のバリアフリー化・風雨対策を求める意見が多かった。
- 空港施設の低利用
- 2次離島において、採算性の問題から民間による光ブロードバンド整備の見通しが立たない。
- 町民の豊かな生活に資するデジタル技術の活用が進んでいない。

### 町民の声

- 「交通環境について、特に力を入れるべきだと思う項目」の第1位に、「航路運賃の引き下げ」69.2%が上がっており、運賃低廉化のニーズが極めて高い。
- 第2位は「高速船・フェリーのダイヤ編成・増便」42.8%で、団体ヒアリングにおいても町外への通院に運賃が上乘せられる点や、農産物の運搬や食品の仕入れ（賞味期限関連）の面で改善を求める声がある。

### 課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>町民ニーズと実態に合ったバス交通の継続</li> <li>町営船「さいかい」のリプレイスによる、運航費用の削減と安全な運航</li> <li>タクシー機能を補完する公共交通体制の構築</li> </ul>	施策(18)
<ul style="list-style-type: none"> <li>航路運賃の低廉化</li> <li>島内外移動の利便性・快適性の向上</li> <li>小値賀空港の利活用</li> </ul>	施策(19)
<ul style="list-style-type: none"> <li>先端技術を活用した、2次離島における超高速ブロードバンドの整備</li> <li>小値賀町の生活を豊かにする地域DXの推進</li> <li>町民の情報技術活用力の向上</li> </ul>	施策(20)

### 施策と主な取り組み・目標値

#### 施策(18) 町内交通の維持と利用率の向上







分野	主な取り組みと方向性	主体			関係課
		町民	地域	行政	
町内交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小値賀交通運行補助 運行車両をダウンサイズ化し、狭い道路の移動性と利用者数に応じ合理化を図ります。観光・イベント等と連携した回数券等を発行し利用者の増加を図ります。</li> </ul>				防災交通係
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町営船「さいかい」リプレイス事業 省エネルギー・バリアフリーに配慮した小型旅客船の建造を推進します。</li> </ul>				渡船係
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●デマンド交通事業 <b>未来会議</b> 小値賀交通バスの運行をデマンド方式に移行し、町内公共交通の利用者の増加を図ります。</li> </ul>				防災交通係

#### 成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
人口当たり年間町内公共交通全体利用者数 ※町内公共交通：バス、デマンドバス、町渡船	14.6人(令和3年度)	↑増加	15.0人

※写真・活版データ 挿入予定








### 施策(19) 町外交通基盤の充実

分野	主な取り組みと方向性	主体  支援 			関係課
		町民	地域	行政	
町外交通	●陳情、要望活動 <b>町民等</b> <b>未来会議</b> 国・県・運航事業者への陳情、要望活動を継続し、ニーズの具現化につなげます。				総務課
	●航空路運航調査の実施 航空路便について、古民家ステイ利用の観光客および町民に運航ニーズの調査を行い、航空路便の再開について検討します。				総務課
	●空港利活用事業 企業とのマッチングの仕組みを活用し、空港の利活用を図ります。				総務課

#### 成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
空港利活用における民間企業とのマッチング件数	0件(令和4年度)	↑増加	1件/年

### 施策(20) 地域DXの推進

分野	主な取り組みと方向性	主体  支援 			関係課
		町民	地域	行政	
情報化	●マイクロ無線による超高速ブロードバンド環境の整備 小値賀島～2次離島間の通信をマイクロ無線技術で構築し、2次離島の屋内における定額・大容量通信が可能な固定通信系の超高速ブロードバンド環境の整備を推進します。				企画係
	●ICT活用に関する町民向け講座の開催 スマホやタブレットの使い方講座を開催し、町民の生活に必要なICT活用能力の習得を図ります。				企画係
	●DX推進計画の作成 <b>町民等</b> 今後ますます進歩するデジタル社会に対応した、町民に寄り添う行政サービスを計画的に実現するため、DX推進計画の作成を進めます。				企画係

#### 成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
2次離島で希望する地域の固定通信系超高速ブロードバンド整備率	0%	↑増加	100%
仕事や暮らしにインターネットを使っている人の割合	52.8%(令和4年度実績)	↑増加	100%
DX推進計画の作成	未策定	期限設定	令和6年度策定

※写真・活版データ 挿入予定



## 環境が保全され自然と共生する社会を実現する

目指すまちの姿

・持続可能なごみ処理体制ができている ・自然を満喫した生活を送っている ・小値賀らしい景観が保全されている

### 現状・問題点

- ・ごみ焼却場の老朽化に伴うごみ処理計画において、令和4年度からごみ処理広域化(可燃ごみの島外搬出)を実施しており、実施に伴う課題整理と町内への理解促進の取り組みが必要である。
- ・西海国立公園について、その魅力や法的優遇制度の活用が不十分である。
- ・気候変動問題や脱炭素社会が世界的な問題になっている中、地球温暖化対策の体制が整っていない。
- ・松くい虫による被害が甚大な枯損木の処理が追いついていない。
- ・近隣諸国からのゴミが海岸に漂着し、美しい景観を阻害しているとともに、その処理に多大な労力と経費を要している。
- ・老朽空き家や家屋の解体が増加しており、街並み景観に悪影響を与えている。

### 町民の声

- ・ゴミ袋の有料化に関し、子育て世帯からゴミ袋の無料化に関する要望の声がある。
- ・「自然・景観・文化について、特に力を入れるべきだと思う項目」の第1位は「海岸清掃、沿道整備や松くい虫被害対策など自然環境・景観の保全と整備」(61.0%)であり、関心が高い。
- ・「小値賀らしさ・魅力」について、第1位「海、空、川、林等自然環境が豊かできれいなこと」(57.4%)第4位「静かで、風の音や鳥のさえずりが心地良いこと」(37.2%)、第6位「釣りやマリンスポーツができること」(32.4%)など、自然に関するものが多く上位にある。
- ・小中高校生とも、「どんな小値賀になってほしいか?」との質問に対して、下記の内容に関する意見が多い。
  - ・いつまでも自然豊かな島、松が元気に育ってくれる島
  - ・海の近くにゴミがない小値賀になって欲しい
  - ・きれいな海を大切にす町などの自然について

### 課題

- ・ごみの分別や減量化の啓発活動による理解の促進

施策(21)

- ・自然公園法に基づく制度を活用した、公園施設の整備・改修
- ・町木である松の計画的保全
- ・海岸漂着ゴミの回収と問題啓発による海洋環境の改善

施策(22)

- ・小値賀町の街並み景観保全の推進

施策(23)

### 施策と主な取り組み・目標値

#### 施策(21) ごみの減量化

分野	主な取り組みと方向性	主体			関係課
		町民	地域	行政	
ごみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ごみの減量化の推進</li> <li>・生ごみの減量化(生ごみ処理機等)</li> <li>・分別の周知等によるリサイクルの推進</li> </ul>				環境衛生係
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ごみ処理広域化事業</li> <li>・可燃ごみ島外搬出の実施や課題の整理・調整</li> <li>・可燃ごみ島外搬出用施設の管理、運営</li> </ul>				環境衛生係

#### 成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
ごみの年間排出量(全体)	1,009トン(令和4年実績)	↓減少	807トン
1人1日あたりのごみの排出量	1,227g/日(令和4年実績)	↓減少	981g/日

※写真・活版データ 挿入予定





### 施策(22) 自然との共生

分野	主な取り組みと方向性	主体  支援 			関係課
		町民	地域	行政	
温 地 暖 球 化	●低公害車の普及に向けた取り組みの研究 低公害車普及に向け燃料供給設備や車両の維持管理に必要な施設等の研究を進めます。				環境衛生係
	●公園施設整備事業 ・国立公園内の公園施設の整備・改修 ・野崎島九州自然歩道の整備				商工観光係
自然	●松林保全事業 <b>町民等</b> 近年の不安定な気象状況や温暖化傾向等を踏まえ、最適な防除時期を把握し、効果的な防除、駆除事業を実施するために松林面積を必要な松林に絞り、保全活動等、総合的な対策を推進し、松林の保全を図ります。				農林係
	●海岸漂着物対策事業 <b>町民等</b> ・漂着物発生抑制対策の強化(周知・調査) ・回収事業の継続				環境衛生係

#### 成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
松くい虫被害木の抑制	95㎡/年(令和4年度)	↓減少	50㎡未満/年
海岸漂着物回収量の維持及び事業の継続	69トン/年(令和4年度)	↑増加	70トン/年

### 施策(23) 街並み景観の保全

分野	主な取り組みと方向性	主体  支援 			関係課
		町民	地域	行政	
景観	●空家等対策計画の策定 <b>未来会議</b> 本計画を策定することで、今後補助事業を活用し、空家改修や危険家屋の除却等を推進していき、街並み景観の保全や改善を実施します。				管理係
	●景観に関する啓発 <b>町民等</b> <b>未来会議</b> 景観計画の啓発を行い、小値賀町の景観の重要性の町民との共有を図り保全につなげます。				管理係 文化財係

#### 成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
管理不全空家件数	23件(令和4年度末現在)	↓減少	13件

※写真・活版データ 挿入予定